

◎講師等
(五十音順)

乾由明 Yoshitaki Inui
元兵庫陶芸美術館長

前崎信也 Shinya Maezaki
立命館大学専門研究員

森野泰明 Yasuaki Morino
陶芸家・日本藝術院会員

柳原睦夫 Munio Yanagihara
陶芸家・大阪芸術大学名誉教授

山本茂雄 Shigeo Yamamoto
富本憲吉文化資料館館長

森野彰人 Aetio Morino
京都市立芸術大学准教授

◎司会

京都市立芸術大学シンポジウム
創造のためのアーカイブ ― 重点事業 part.1

富本憲吉の ことば

2013年12月1日(日) 午後1時〜4時

京都国立近代美術館講堂〈入場無料〉

The National Museum of Modern Art, Kyoto

主催 ― 京都市立芸術大学アーカイバルリサーチセンター準備委員会、

京都市立芸術大学(特別研究助成事業)

協力 ― 富本憲吉文化資料館、京都国立近代美術館、

立命館大学アーカイブ・リサーチセンター

問合せ ― 京都市立芸術大学教務学生担当 TEL 075-3334-2006

◎プログラム

12時30分…開場

13時…開会挨拶 建昌哲(京都市立芸術大学学長)

13時10分…報告

「デジタルアーカイブ
から見えることば」
前崎信也(立命館大学専門研究員)

13時40分…寄贈資料解説
「バーナード・リーチ宛
書簡をめぐる」
山本茂雄(富本憲吉文化資料館館長)

14時30分…休憩

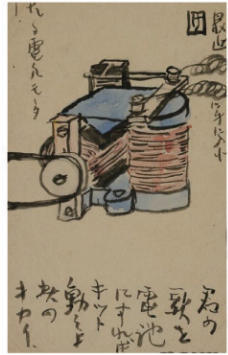
14時45分…鼎談「わが陶器造り」
乾由明(元兵庫陶芸美術館長)

柳原睦夫(陶芸家・大阪芸術大学名誉教授)

森野泰明(陶芸家・日本藝術院会員)

15時45分…質疑応答

16時…閉会



白瀧幾之助宛絵はがき 1909年10月22日消印



水木要太郎宛はがき 1910年8月9日消印

ANDO-MURA IKOMA-GORI NARA-KEN JAPAN OCT. 28th 1947 DEAR BERNARD I AM VERY GLAD TO WRITE YOU THIS LETTER...

バーナード・リーチ宛書簡

Handwritten Japanese text, likely a letter or document related to the symposium.

白瀧幾之助宛書簡 1917年

京都市立芸術大学シンポジウム 創造のためのアーカイブー重点事業 Part.1 富本憲吉の「ことば」

この度、京都市立芸術大学は富本憲吉記念館から富本憲吉に関する資料を寄贈頂く運びとなりました。富本が感銘を受け、親交が深かったバーナード・リーチとの往復書簡をはじめ、水木要太郎、南薫造、白瀧幾之助宛の書簡や文書、素描、図案など貴重な研究資料約580点は「富本憲吉アーカイブ」辻本勇「コレクション」として研究を進め、芸術資料館での公開やシンポジウム、出版物等を通して多くの方々の利用に役立てて行く予定です。

富本憲吉は京都市立芸術大学の前身である京都市立美術大学で陶磁器専攻を創設し、教授、学長を務めました。富本は卓抜とした識見をそなえ、強烈な個性を持った存在であり、国画創作協会、国画会、工芸部、新匠会、東京美術学校、東京藝術大学や京都市立美術大学においては、彼の創造活動を敬慕する人たちが交流し、多数の有能な芸術家を輩出しました。

今回はPart.1として「富本憲吉の「ことば」」をテーマにシンポジウムを行います。「模様より模様を造る可からず」に代表される富本の「ことば」は芸術に対する真摯な姿勢を示しています。「染焼工程」窯辺雑記「わが陶器造り」など数々の著作において自身の技法や美意識を書き残しており、富本は多くの言葉を残した陶芸家はいません。「バーナード・リーチとの書簡」、「わが陶器造り」など、富本と様々な人々との交流の中で生まれた「ことば」を抽出し再考するシンポジウムです。会場では彼の豊かな個性と高い見識が凝縮された書簡など、寄贈頂いた貴重な資料の一部を展示いたします。

森野彰人(京都市立芸術大学准教授)

Profile

富本憲吉 Kenkichi Tomimoto 1886年、奈良県安堵村に生まれる。1904年、東京美術大学図案科に入学。1908年、イギリスに私費留学。1910年、帰国バーナード・リーチと親交を結び作陶の道に入る。1926年、国画会に工芸部を創立。1935年、帝國美術院に教授に就任。1944年、東京美術学校教授に就任。1946年、新匠美術工芸会を結成。1949年、京都市立美術大学教授に就任。1955年、重要無形文化財保持者(色絵磁器)に認定。1961年、文化勲章を受章。1963年、6月死去。

乾由明 Yoshiki Hui 京都大学名誉教授/元金沢美術工芸大学学部長/元兵庫陶芸美術館館長/京都大学京都国立近代美術館に勤務の後、京都大学教養部教授を経て、金沢美術工芸大学学長を務める。その後、兵庫陶芸美術館館長を務める/主な著書に「現代陶芸の系譜」用美社、眼の倫理 現代美術の地平から、講談社他多数。

森野泰明 Hiroaki Morino 日本藝術院会員/日展常務理事/全関西美術展運営委員/京都工芸美術家協会理事。京都市立美術大学陶磁器専攻専攻修了。1957年、日展初入選。1996年、京都府文化賞功賞受賞。1999年、京都市文化功労者。2007年、日本藝術院賞受賞。2009年、日本陶磁協会賞金賞受賞。

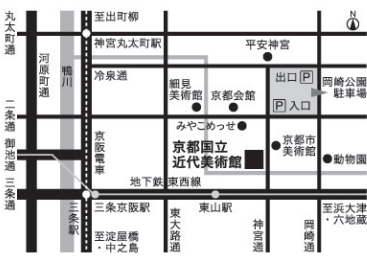
柳原睦夫 Munuo Yanagihara 大阪芸術大学名誉教授/京都市立美術大学陶磁器専攻専攻修了。1966年、ワシントン大学講師、アルワルド大学助教授として米国に招聘。1998年、京都市芸術功賞受賞。2000年、京都府文化功賞受賞。2003年、日本陶磁協会賞金賞受賞。2005年、京都美術文化賞受賞。

森野彰人 Akio Morino 京都市立芸術大学准教授/大阪芸術大学工芸科卒業/京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。1998年、第5回国際陶磁器展美濃98銀賞受賞。2002年、現代陶芸100年展「日本陶芸の展開」展最優秀現代陶芸家賞。2006年、日本陶芸100年の精華 茨城県陶芸美術館。2007年、京都市芸術新人賞受賞。2012年、タカシマヤ美術賞受賞。

山本茂雄 Shigeo Yamamoto 富本憲吉文化資料館館長。1935年、広島県呉市に生まれる。東京大学法学部卒業後日本ガス工業株式に入社。1969年、義兄辻本勇氏の富本憲吉記念館開設準備の為に退社。1974年、記念館開設以来富本憲吉の研究に関わり、現在にいたる。

前崎信也 Shinya Maekaki 立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構専門研究員/2000年、龍谷大学文学部史学科卒業。2009年、ロンドン大学SOAS博士号美術史取得。英国、中国への留学、米国内での美術活動などを経て現職。著書に「松林苑の助九州地方陶業見学記」富野出版社、共著に「近代工芸運動とデザイン」思文閣出版他。

森野彰人 Akio Morino 京都市立芸術大学准教授/大阪芸術大学工芸科卒業/京都市立芸術大学大学院美術研究科修了。1998年、第5回国際陶磁器展美濃98銀賞受賞。2002年、現代陶芸100年展「日本陶芸の展開」展最優秀現代陶芸家賞。2006年、日本陶芸100年の精華 茨城県陶芸美術館。2007年、京都市芸術新人賞受賞。2012年、タカシマヤ美術賞受賞。



京都国立近代美術館 The National Museum of Modern Art, Kyoto 〒606-8344 京都市左京区岡崎岡門勝寺町 http://www.momak.go.jp/

[JR~バスをご利用の方] ●JR-近鉄京都駅前(A1のりば)から:市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●JR-近鉄京都駅前(D1のりば)から:市バス100番(急行)銀閣寺行「京都都会館美術館前」下車すぐ [阪急電鉄・京阪電鉄~バスをご利用の方] ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪三条駅から:市バス5番 岩倉行「京都都会館美術館前」下車すぐ ●阪急烏丸駅・河原町駅、京阪四条四軒家駅から:市バス46番 平安神宮行「京都都会館美術館前」下車すぐ [市バス他系統ご利用の方] 「京都都会館美術館前」下車すぐ「東山二条」下車徒歩約10分 [地下鉄ご利用の方] 地下鉄東西線「東山」駅下車徒歩約10分